

インフルエンザの流行期に入りました



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 127	71	百日咳	↘ 1	2
RSウイルス感染症	↘ 61	103	ヘルパンギーナ	→ 23	23
咽頭結膜熱	↗ 52	30	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 65	70
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 101	97	急性出血性結膜炎	↗ 3	1
感染性胃腸炎	↗ 848	708	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 25	21
水痘	↘ 41	45	細菌性髄膜炎	↗ 1	0
手足口病	↗ 84	75	無菌性髄膜炎	↘ 0	1
伝染性紅斑(りんご病)	→ 2	2	マイコプラズマ肺炎	→ 10	10
突発性発疹	↗ 33	26	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- インフルエンザ
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 八代、菊池、山鹿、有明

手足口病 : 菊池

流行性耳下腺炎 : 八代

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
1 熊本市保健所	48	7	14	31	213	14	37	1	8	0	5	20	3	23	0	0	6	0	0
2 山鹿保健所	12	0	0	0	51	0	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3 菊池保健所	30	16	14	28	137	3	25	0	2	1	6	7	0	0	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	5	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	5	0	0	0	40	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	3	9	1	1	114	3	4	0	4	0	2	22	0	0	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	3	14	0	0	10	2	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8 人吉保健所	2	8	0	7	40	1	12	0	2	0	0	4	0	0	1	0	1	0	0
9 有明保健所	13	4	18	15	116	10	4	0	3	0	1	3	0	2	0	0	1	0	0
10 宇城保健所	5	3	1	17	62	6	1	0	3	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	1	0	4	0	59	2	0	0	5	0	5	3	0	0	0	0	2	0	0
計	127	61	52	101	848	41	84	2	33	1	23	65	3	25	1	0	10	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	127	1	2	4	2	9	1	4	7	3	2	3	18	24	11	7	7	7	8	3	4
小児科定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	61	11	12	24	11	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	52	0	6	27	2	2	8	4	2	1	0	0	0	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	101	0	0	2	4	2	8	18	14	13	10	4	20	0	6						
感染性胃腸炎	848	1	30	85	76	83	93	79	73	47	36	29	106	26	84						
水痘	41	0	3	5	3	6	10	8	2	1	1	0	1	0	1						
手足口病	84	1	11	35	13	7	8	4	2	1	0	1	1	0	0						
伝染性紅斑	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
突発性発疹	33	0	13	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0						
ヘルパンギーナ	23	0	2	10	7	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	65	0	0	4	5	11	6	16	6	4	4	3	4	0	2						
眼科定点年齢区分	合計	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	
流行性角結膜炎	25	1	3	0	4	1	1	0	0	2	1	0	1	1	1	4	2	0	0	0	3
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	10	0	3	3	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0					
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

インフルエンザの流行期に入りました

12月12日~12月18日の県内のインフルエンザ報告数は、127件となって流行開始の目安を超えました。前週の71件に比べ、報告数は1.8倍増加しました。

保健所別では、山鹿、菊池、熊本市、阿蘇、有明、御船、水俣地域が流行開始の目安を超えています。今後、患者数が増加することが予想されますので警戒が必要です。

インフルエンザを予防する有効な方法としては、①予防接種、②飛沫感染対策としての咳エチケット、③外出後の丁寧な手洗いが挙げられますので予防対策をしっかりと行い、流行に備えるようにしましょう。

※熊本県のホームページ「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましょう」
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_17785.html

引き続き感染性胃腸炎に注意しましょう

今週の感染性胃腸炎の報告数は848件で、前週よりも報告数が増えています。また、八代、菊池、山鹿、有明で警報レベルに達しています。

特にノロウイルスは感染力が強く、少量でも発症するのが特徴です。主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱です。通常、これらの症状が小さなお子様や高齢の方などでは重症化することがありますので、特に注意が必要です。

